

## 白衣着用時、口紅の色を変えることで第一印象に影響があるのか？

作業療法士学科昼間部

### 【背景】

我々は臨床実習で指導者、患者や利用者とは上手く関係を築くことができるか、強い不安を抱くことが多い。実習で指導者、患者・利用者とは良い関係を築くためには、初めに好印象を与える必要があると考えた。また、マレービアン<sup>1)</sup>は、言葉7%・声38%・視覚55%で第一印象が判断され、これらは初めて会ったときの3~5秒で決まると述べている。初めて会うに人に対して好印象を与えるためには視覚的情報が関係し、唇の色やつや感によって印象が変わると考えたため、口紅が簡単に印象を変えることができることから「清潔感」「やさしさ」「明るさ」「信頼感」「真面目さ」<sup>2)</sup>が医療職に求められる印象であるため、その5項目の印象が与えられる口紅の色を明らかにする。

### 【対象および方法】

対象者：大阪医療福祉専門学校で実験者の顔を認識していない男女200名（男89人、女111人、平均年齢20.3歳）を対象とした。アンケート調査を約10分行い、回収した。調査項目：クッションファンデーションで唇の色を肌の色に合わせた写真を基準として赤・ピンク・オレンジのつやあり、つやなしの写真のみをもらう。そして5項目「①清潔感②やさしさ③明るさ④信頼感⑤真面目さ」に対してそれぞれリッカート法を用いて、1~6段階で一番適切なものを選択する。上記の項目に対して1~6段階で値が高いものを好印象とした。倫理的配慮は十分に行った。

### 【結果】

ピンクのつやなしが一番好印象を与えた。清潔感を感じさせたのはオレンジ、やさしさを感じさせたのはピンク、明るさを感じさせたのはピンク、信頼感を感じさせたのはピンクとオレンジ、真面目さを感じさせたのは肌の色（基準）であるが、赤のつやありが一番明るい印象を与えると予想されたが、ピンク・オレンジに比べて低い結果となった（図1）。また、赤の口紅はほかの色と比べて好印象を与えないが、女性より男性の方が赤を肯定的に捉えていた。

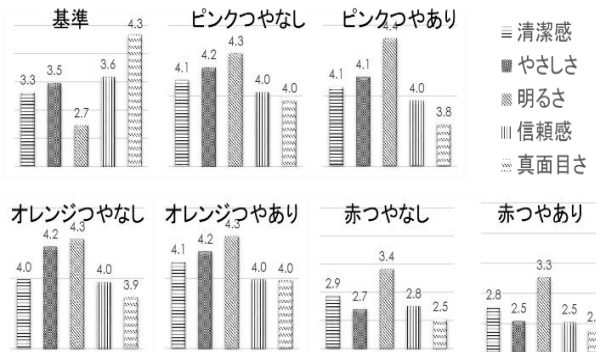


図1. 色の印象

### 【考察】

「明るさ」に関しては口紅の印象はピンク、色の印象は赤と違いがみられたのは、赤は医療職として求められる印象ではないのではないかと。赤のみつやありよりつやなしの方が全項目、値が高い。赤は色自体に明るい印象を与え、それにつやを付けてしまうと更に明るくなってしまったため、今回の白衣着用時には赤の口紅につやを付けることで更に口元が強調され悪印象を与えたのではないかと。赤の口紅を男性は肯定的に捉えていたのは、男性のみ赤色は女性の魅力を高める<sup>3)</sup>ことが関係しているのではないかと。

### 【まとめ】

白衣着用時にピンクのつやありが一番好印象を与え、赤のつやありは良い印象を与えない。色の印象と口紅の印象は同じであり、男性は赤色を肯定的に捉えている。また、口紅の色の特徴を知っておくことで自分の与えたい印象を与えることができる。

### 【文献】

- 1) A.マレービアン(西田司・他訳)：非言語コミュニケーション。株式会社聖文社。1986, 93-116.
- 2) 荻あや子：患者や家族と看護師の化粧に対する認識の比較に関する研究。コスメトロジー研究報。25, 2017, 130-137.
- 3) 服部陽介：赤は女性を魅力的にするか—日本人大学生を対象とする概念的追試—。感情心理学研究。24, 2016, 33.